

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 26 年 7 月 10 日 (19 : 00 ~ 20 : 15)		
実施場所	本町分庁舎 2 階	参加人数	11 人
参加対象	市民活動ネットワークひとサポ		
懇談内容	<p>【1. 発言者】</p> <p>市の支援により 4 月から窓口が 2 人体制となり、相談対応もはかどっている。単独では実施が難しい企画でも、当団体が様々な機会を通じてつながった団体、個人を結びつけながら、その実現につなげたい。</p> <p>【市 長】</p> <p>「ひとサポ」は、あらゆる主体をマッチングさせることがメーンの取組みと認識している。期待している。</p> <p>【2. 発言者】</p> <p>① NPO 法人化の話も出ているが、今のメンバーがいなくなっても、しっかりとした理念が継承できる NPO 法人を目指したい。</p> <p>② 中里、松代・松之山は市民活動の盛り上がりがない。「センター」整備だけではなく、「サテライト」整備も視野に入れる必要がある。</p> <p>【市 長】</p> <p>① 中間支援組織を軸とした NPO 法人を検討して欲しい。</p> <p>② 何か共有できる目的、共通したテーマがあることで盛り上がりにつなげることも可能ではないか。</p> <p>【3. 発言者】</p> <p>市職員の能力を評価している。市民としてもっと参加し、知恵をもらいたい。</p> <p>【市 長】</p> <p>職員も地域に帰れば一市民。積極的に出て欲しい。ことあるごとにさらに参加するように伝えたい。</p> <p>【4. 発言者】</p> <p>周辺部に行けば行くほど移動手段が奪われ、市街地での活動に参加しづらい。中間支援や人材育成の機能をサテライトにも持たせ、活動できるベースを広げていく必要があるのではないか。</p> <p>【市 長】</p> <p>中間支援組織としての役割を「ひとサポ」に期待している。しっかり仕切れる人材が必要となるが、まずは、色々な活動を進める中で、壁にぶつかっている人たちを元気にしてくれる組織であって欲しい。</p>		

【5. 発言者】

「ひとサポ」の活動が、地域自治組織と重なることもある。今後、役割の棲み分けが必要だと感じている。

【市長】

まちづくりは、地縁、血縁でつながる地域の縦の領域だけでなく、政策やテーマでつながる横の領域もある。横同士を結び付けていく中間支援組織として、自由な雰囲気でも活動してほしい。

【6. 発言者】

松代・松之山の人たちは、身近にいた行政の人が遠くなり、不安に感じているのだと思う。

【7. 発言者】

- ① こちらから動いてサポートする活動が、十日町流の中間支援組織の在り方かもしれないと考えている。そのために、仲間を増やしたい。
- ② 若い母親が子育てに悩むだけでなく、自分で学んだり、新たな発見ができるよう、地区公民館などで講座や気軽に学べる場があるといい。

【市長】

市民活動する人たちを支援する組織という点に立ち返って、「ひとサポ」の仕事とは何かということを考えて欲しい。